※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０７

令和５年度　家庭科

教科	（共）家庭	科目	（学）自己表現（生活編Ａ）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活を豊かに楽しく変化に富んだものにするために、各人が個性的な「手作り」のよさを見直し、作る楽しさを生活に取り入れましょう。
また、自分らしさを表現する楽しさを味わってください。

２　学習の到達目標

製作方法や出来上がりの作品を具体的に想像できるように、視聴覚教材を積極的に用いる。
理解度の確認テストや補習を行う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手芸の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、創造的に製作するために必要な知識を身につけている。	身近なものを利用して。構成・材料及び製作する。自分の嗜好との関連をみつけることができる。目的に応じてどのような材料・デザインを選択するか判断しながら製作する力を身につけている。	手芸の構成・材料・製作について関心を持ち、家庭生活の充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、創造的に製作する態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～7月	オリエンテーション プレレッスンキット (手縫い) ピンクッション づくり	・基礎的な手縫い ・道具の使い方 ・作品作成	a:基礎的な手縫いについての技術を習得している b:配色や柄を組み合わせ 作品のデザインができる。 c:与えられた課題に主体的に取り組むことができる	制作物	ワークシート レポート	プリント 出席状況 授業観察
8～12月	三原組織について	・編物と織物 ・基本的な編物 ・作品作成	a:三原組織のそれぞれの特徴と違いを理解する b:配色と織り方を考え作品のデザインができる c: 与えられた課題に主体的に取り組むことができる	制作物	ワークシート レポート	プリント 出席状況 授業観察
	生活を豊かに	・ハーバリウム ・タッセルイヤリング	a:素材の特徴にについて理解している b: 配色と素材を考慮し作品のデザインができる c: 与えられた課題に主体的に取り組むことができる	制作物	ワークシート レポート	プリント 出席状況 授業観察
1月～	ポーチ作り	・羊毛フェルト刺繍 ・ミシンを使った作品	a:羊毛フェルトの特徴について理解している ミシンの使い方が理解できている b:配色と材質を考え作品のデザインができる c: 与えられた課題に主体的に取り組むことができる	制作物	ワークシート レポート	プリント 出席状況 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度